



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成31年1月29日

上場会社名 株式会社 エクスネット
 コード番号 4762 URL <http://www.xnet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部チーフマネージャー
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 茂谷 武彦
 (氏名) 坪田 浩司
 TEL 03-5367-2201

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	3,236	3.9	487	4.4	502	3.2	339	2.6
30年3月期第3四半期	3,116	6.6	510	2.5	519	4.1	348	7.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	41.09	
30年3月期第3四半期	42.19	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	7,219	6,306	87.4
30年3月期	7,196	6,198	86.1

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 6,306百万円 30年3月期 6,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		14.00		14.00	28.00
31年3月期		14.00			
31年3月期(予想)				14.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,300	2.3	650	4.2	670	3.2	450	3.4	54.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	8,261,600 株	30年3月期	8,261,600 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	4 株	30年3月期	0 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	8,261,598 株	30年3月期3Q	8,261,600 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 売上高

平成31年3月期第3四半期（平成30年4月1日から平成30年12月31日まで）は、中核商品である「XNETサービス」の売上高が3,229百万円（前年同期比4.4%増）となり、機器販売等を含めた売上高は3,236百万円（前年同期比3.9%増）となりました。

「XNETサービス」は、大別してアプリケーションサービス、AMOサービス、SOサービスに区分されますが、いずれも堅調に推移しており、結果として、当第2四半期時点（前年同期比0.7%増）と比較し、増収率が拡大しております。

特に、AMOサービスについては生損保顧客の国際会計基準（IFRS）へのシステム対応案件などを中心に、第3四半期における検収案件が多く売上計上され、「XNETサービス」全体の増収率拡大に寄与しております。

アプリケーションサービスについても、既存顧客への継続的なサービス提供と、地方銀行への新規サービス導入などによる利用契約額の増加により安定的に収益を獲得し続けているほか、SOサービス（旧BPOサービス）についても、サービス導入顧客数が着実に増加しております。

当社は、直前の3期連続で最高売上高を更新しておりますが、4期連続の更新に向けて、当期も順調に推移しております

機器販売等の売上高は7百万円（前年同期比69.1%減）となりました。

売上高の内訳は以下の通りです。

品目	平成30年3月期第3四半期		平成31年3月期第3四半期		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
	百万円	%	百万円	%	%
XNETサービス	3,092	99.2	3,229	99.8	4.4
機器販売等	23	0.8	7	0.2	△69.1
合計	3,116	100.0	3,236	100.0	3.9

② 営業利益、経常利益、四半期純利益

当第3四半期の利益は、営業利益487百万円（前年同期比4.4%減）、経常利益502百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

減益の要因としては、当第2四半期までと同様に、アプリケーションへの開発投資による償却負担が増加していることに加え、平成30年7月31日発表の第1四半期決算短信における記載のとおり、前期第1四半期において複数の高利益率案件が売上計上されたAMOサービスについて、当期においては平均的な利益率水準となった反動が出たことによるものです。しかしながら、上記①に記載の通り増収率の拡大と共に、減益率は縮小しております。

結果として、当第2四半期において14.7%であった売上高営業利益率は15.1%と回復し、目標である15%を上回りました。

四半期純利益については339百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、主に投資有価証券の増加により前期末比23百万円増の7,219百万円となりました。負債につきましては、主に未払法人税等の減少により前期末比84百万円減の912百万円となりました。純資産は繰越利益剰余金の増加により前期末比108百万円増の6,306百万円となり、自己資本比率は87.4%（前期末86.1%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の経営成績は、概ね予想通りの水準となり、今後も予想通りの水準を達成すると見ております。

この結果、平成31年3月期の業績予想は、平成30年4月26日発表の決算短信記載の業績予想数値から変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,058,115	805,333
売掛金	278,067	318,752
有価証券	200,000	101,037
商品及び製品	240	-
仕掛品	15,361	26,090
前払費用	14,561	18,960
関係会社預け金	1,569,458	1,583,397
その他	8,382	4,356
貸倒引当金	△4,365	-
流動資産合計	3,139,821	2,857,927
固定資産		
有形固定資産		
建物	44,600	49,092
減価償却累計額	△23,320	△25,147
建物(純額)	21,280	23,945
工具、器具及び備品	128,598	147,902
減価償却累計額	△101,160	△105,939
工具、器具及び備品(純額)	27,437	41,962
有形固定資産合計	48,717	65,908
無形固定資産		
ソフトウェア	1,410,442	1,448,079
ソフトウェア仮勘定	344,729	416,567
電話加入権	993	993
無形固定資産合計	1,756,165	1,865,640
投資その他の資産		
投資有価証券	1,915,248	2,112,575
敷金及び保証金	159,966	159,966
繰延税金資産	176,370	157,800
投資その他の資産合計	2,251,585	2,430,341
固定資産合計	4,056,468	4,361,889
資産合計	7,196,290	7,219,817

（単位：千円）

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	593	1,068
未払金	228,226	210,327
未払費用	19,745	42,345
未払法人税等	145,684	32,520
未払消費税等	36,975	39,169
前受金	2,314	598
預り金	27,443	64,005
賞与引当金	103,572	19,547
役員賞与引当金	-	18,746
流動負債合計	564,554	428,330
固定負債		
退職給付引当金	426,320	477,108
資産除去債務	6,661	7,486
固定負債合計	432,982	484,595
負債合計	997,537	912,926
純資産の部		
株主資本		
資本金	783,200	783,200
資本剰余金		
資本準備金	1,461,260	1,461,260
資本剰余金合計	1,461,260	1,461,260
利益剰余金		
利益準備金	17,397	17,397
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	3,936,895	4,045,037
利益剰余金合計	3,954,292	4,062,434
自己株式	-	△3
株主資本合計	6,198,752	6,306,890
純資産合計	6,198,752	6,306,890
負債純資産合計	7,196,290	7,219,817

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高		
役務収益	3,092,467	3,229,242
商品売上高	23,992	7,402
売上高合計	3,116,460	3,236,645
売上原価		
役務原価	2,260,002	2,415,108
商品売上原価		
商品期首たな卸高	-	240
当期商品仕入高	21,842	3,526
合計	21,842	3,766
商品期末たな卸高	226	-
商品売上原価	21,616	3,766
売上原価合計	2,281,618	2,418,875
売上総利益	834,842	817,770
販売費及び一般管理費		
業務委託費	30,165	31,256
給料及び手当	152,720	152,864
賞与引当金繰入額	614	708
役員賞与引当金繰入額	18,373	17,430
退職給付費用	1,921	3,094
法定福利費	13,959	14,183
賃借料	9,247	9,247
支払手数料	51,214	57,136
貸倒引当金繰入額	110	△4,365
その他	46,474	48,794
販売費及び一般管理費合計	324,800	330,350
営業利益	510,042	487,420
営業外収益		
受取利息	1,527	1,721
有価証券利息	7,738	13,154
雑収入	154	370
営業外収益合計	9,421	15,246
経常利益	519,463	502,666
税引前四半期純利益	519,463	502,666
法人税、住民税及び事業税	157,510	144,630
法人税等調整額	13,390	18,570
法人税等合計	170,900	163,200
四半期純利益	348,563	339,466

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。